



2021年度春季 オーストラリア  
ウーロンゴン大学附属カレッジ  
オンライン研修プログラム

基礎コース: Virtual Study Tour  
応用コース: Project Unite

英語を集中的に学びたい・オーストラリア文化を体験したい方向け！

Virtual Study Tour (基礎コース)

【研修期間】 2022年2月21日(月)～3月18日(金)

※原則4週間の参加。都合により2週間または3週間の参加を希望する場合は応相談。

【募集対象】全学生・大学院生

【研修費用】AUD1,200(約10万円)AUD300/週

英語を使って、他国の学生との協働学習に挑戦したい方向け！

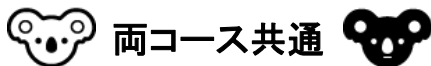
Project Unite (応用コース)

【研修期間】 2022年2月21日(月)～3月4日(金)

【募集対象】全学生(2年生以上)・大学院生でTOEIC500点相当以上の英語力がある方

【研修費用】AUD770(約6万5千円)

※ 為替レート 1ドル=85円(2021年11月現在)



両コース共通

【参加条件】

- ① 信州大学に在籍し、事前学修期間から研修期間中にかけて休学予定のない者
- ② 信州大学が求める連絡への対応、書類等の提出、事前ガイダンス等の全研修に参加できる者
- ③ 研修終了後にTOEIC/TOEFL/IELTS等の英語能力試験を受検し、2022年6月末までにスコアを提出することができる者

【申込期限】 2021年12月10日(金)

【申込方法】 申込フォームで申請(下記URL または QRコードから申請) >>>>

<https://forms.gle/DkpNPLvgXTKuF1aa9>



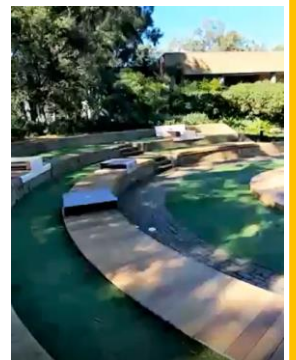
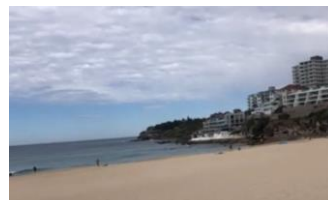
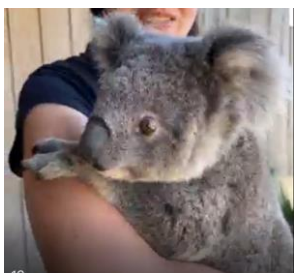
# 研修プログラム内容等

	① 基礎コース: Virtual Study Tour	② 応用コース: Project Unite
授業時間	<p>■ 英語授業/バーチャルツアー 月～金 9:00～13:00 (日本時間) ※バーチャルツアーは英語授業の中に入ります。</p>	<p>■ 英語授業 月～金 8:00～12:00 (日本時間) ※バーチャルツアーは英語授業の中に入ります。 ■ プロジェクト型研修 月～金 13:00～15:00 (日本時間)</p>
授業概要	<p>オーストラリアの文化等をテーマとした英語学習をとおして楽しく英語を学びます。またバーチャルツアーでは担当者がライブで説明をしながら観光地や動物園、現地学校等を訪問します。日本にいながら現地の雰囲気を感じることができます。</p> <p>【授業のテーマ(例)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Australia-a Sporting Nation</li> <li>● Australian Slang-English in Australia</li> <li>● Multicultural Australia</li> <li>● Australian Workplace Culture</li> <li>● Meet an Aussie Business</li> <li>● Australia's Coffee Culture</li> <li>● Aussie inventions</li> <li>● Wollongong Tourism</li> <li>● Communication Skills</li> <li>● Critical Thinking and Presentation Skills</li> </ul> <p>【英語授業】 授業はゲームやワークシート(内容は動画のディクテーション、オーストラリアスラングを用いた英作文など)、ブレイクアウトルームでのディスカッション、プレゼンテーションなど様々なアクティビティを通して英語を学ぶ内容となっています。</p>	<p>SDGs(持続可能な開発目標)をテーマに英語学習+日本の他大学や他国の学生と共にグループワークを行うプロジェクト型学習をとおしてこれからのグローバル人材に求められる下記のスキルを養うことを目的としたコースです。午前の英語授業の一部にバーチャルツアーも組み込まれており、現地の文化を体験することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● English Language Skills</li> <li>● Presentation Skills</li> <li>● Confidence with speaking, reading and writing</li> <li>● Critical Thinking</li> <li>● Professional skills</li> <li>● Independent Research Skills</li> <li>● Global awareness</li> <li>● Intercultural Understanding</li> </ul> <p>【プロジェクト型研修】 SDGs17のテーマから第5希望まで選択します。研修校が設定したグループごとにプロジェクトを行います。各グループには現地学生が1名入り、メンターとしてグループをサポートします。グループワークの他にもMaster classと呼ばれる講義も行われます。</p>

## バーチャルアクティビティ

※2021年年度夏季に実際に行われたバーチャルツアーです下記の他に現地学生との交流も行われました。

- Campus Tour
- Australian Animals and Symbio Zoo
- Sydney Visit
- Australia's Indigenous Centre
- Australia's Fishing & Seafood Industry
- Australian School Visit



※授業予定・バーチャルアクティビティは変更になる場合があります。



## ◆ いつかは行きたい オーストラリア・ウーロンゴン情報



### New South Wales ニューサウスウェールズ州

オーストラリア南東部に位置、州都シドニーは500万人以上の人口を抱えるオーストラリアの最大都市です。

### Wollongong ウーロンゴン市

ウーロンゴン市はシドニー中心部から南に電車で約90分のところにあります。ニューサウスウェールズ州で3番目に大きな都市でありながら、素晴らしい自然を有しています。波の音を意味する「ウーロンゴン」は海沿いの美しい自然に囲まれた、ゆたかでゆったりとした町です。マリンスポーツをはじめ、あらゆる種類のスポーツやアクティビティが気軽に楽しめます。また、郊外には世界で初めて国立公園に指定されたロイヤル国立公園があり、熱帯雨林やユーカリの森などを歩くブッシュウォーキングが人気です。気候は年間を通じて温暖です。南半球に位置するため、2月・3月が夏になります。一日の気温差が大きい為、日中は暖かく感じる時期でも朝は冷え、上着が必要になることも多いです。



## ◆ 研修校はどんな大学？

### University of Wollongong ウーロンゴン大学

1951年にUniversity of New South Walesの支部として設立され、1975年に独立した大学として創立されました。国内キャンパスの学生数約35,000人、さらに海外4か国キャンパスがあります。学生・職員の出身国は約180か国にのぼり、非常に国際色豊かです。キャンパスは自然に囲まれ、図書館、カフェテリア、スポーツ施設などの施設も充実しています。就職率、学生の満足度、講師の質等高い評価を得ている大学です。



### University of Wollongong College Australia

#### ウーロンゴン大学附属カレッジ

1988年創立のウーロンゴン・カレッジは、ウーロンゴン大学のキャンパス内にあり、30年以上の経験を誇る質の高い英語コースや大学準備コースを提供しています。大学は町から3kmほど離れていますが、駅からはシャトルバスも運行されていて、構内にはカフェテリア、パブ、大学生協、書店、メディカルセンター、旅行会社などもあり不便に感じることはありません。



## ◆ 申込から研修開始までのスケジュール(予定)

日程	内容
2021年12月10日(金)	応募締切 ※グローバル化推進センターホームページ上の申込フォームから申込
2021年12月13日～17日	参加決定後、グローバル化推進センターから応募者全員にメールにて連絡
2022年2月上旬	事前ガイダンス(オンライン)
2022年2月上旬	研修費用支払い期限 ※申込を取り消したい場合は研修校が定めるキャンセル料が発生します
2022年2月21日(月)～	研修開始
2022年5月頃	成果報告会&国際教養関連書類提出 ※英語能力試験を個人で受検し、6月末までにスコアを提出

## ◆ 大学からの費用支援について

本オンライン研修参加にあたり大学からの経費支援の可能性ががあります。詳しくはグローバル化推進センターまでお問い合わせください。

【問合せ先】 信州大学グローバル化推進センター [gecgd@shinshu-u.ac.jp](mailto:gecgd@shinshu-u.ac.jp) (担当: 山本・小林)